

大規模災害時における市町村行政機能の確保に関する検討会

開催趣旨

- 現状では、大規模災害時に、市町村の行政機能を確保していく上で必要な情報（首長等幹部の安否、庁舎の損壊・移転状況、通信手段の確保状況等）を、政府として把握する方法が体系化されていない。
- 今後発災が想定される大規模災害を念頭に、これらの情報を把握する目的、方法等について整理し、具体的な仕組みを構築することとする。

構成員

- 座長 稲継 裕昭（早稲田大学政治経済学術院 教授）
牛山 素行（静岡大学防災総合センター 教授）
小野 弘行（宮城県東松島市総務部総務課 行政専門員）
芝崎 晴彦（東京都総務局総合防災部 広域連携担当課長）
福田 孝由（東京都総務局総合防災部 計画調整担当課長）
間宮 将大（熊本県知事公室危機管理防災課 課長）
- （幹事） 総務省自治行政局公務員課、消防庁国民保護・防災部防災課、応急対策室
（事務局） 総務省自治行政局市町村課

開催実績

- 平成29年1月17日、2月14日、3月16日の計3回開催